

# 宿泊型農業体験事業 食育ファーム

滝川市

## 1 取組の目的

当市の食育課題である「子どもたちの欠食対策」等のため、地元の基幹産業である農業を活用し、農業体験をとおして子どもたちのより良い食意識形成と食行動を育み、適切な食習慣として定着させることを目的に、農家で宿泊しながら農業体験、生き物観察、調理などの食育ファームを実施し、朝食欠食の改善を図る。

## 2 取組の内容

市内の小学5～6年生29名が夏休み期間中に、地元農家で宿泊しながら農業体験などを行った。

### (1) 親子事前学習会（8月1日）

#### ア 宿泊農業体験に伴うオリエンテーション

農業体験は食の大切さばかりでなく、農業や地域に対する興味や知識を育むことから、よりよい体験学習につなげるための説明を行った。

#### イ 野菜の学習

今が旬の「とうもろこし」について、農業者が講師として種まきから栽培までの話を行い、学校の学習とは違う食べる視点での知識を深めることができた。



【とうもろこしの学習】

### (2) 食育ファーム（8月6～8日、2泊3日）

#### ア 地元食材を使用した加工体験

インストラクターの指導のもと、そば打ちとパン作りの2つの班に別れて挑戦した。

ほとんどの子どもたちは、初挑戦で粉から形あるものを作る楽しさと難しさに奮闘していたが、昼食での試食会は美味しさに達成感が加わって、でき栄えを自慢しながら食べていた。

さらに、麺だけではなく、そば粉でクッキーやクレープを作りたいとの要望があるなど、加工体験によって作って食べることの大切さや、地元食材に愛着を持つなど、食に対する興味や関心を持たせるきっかけづくりになった。



【そば打ち】



【はるゆたかのパン作り】

## イ 農業体験

1日目は4～5人のグループに別れ農家で宿泊しながら、収穫、草取り、箱詰めの作業や調理などを行った。2日目は全員でにんじんやとうもろこしの収穫体験を行い、昼食は宿泊先でお世話になった農家のみなさんと滝川産の食材を使ったカレーライスを食べながらで交流会を行った。

特にとうもろこしの収穫は、親子事前学習会で学習し知識として持ったものを、畑で実際に確認することで知識が強化された。

さらに、農業体験をとおして、食べ物は簡単にできないことや生産者の苦勞を知ることができ、農と食のつながりを実感することによって、自然の恵みに感謝する気持ちや食べ物を大切にする気持ちが育まれた。



【にんじんの収穫】



【とうもろこしの収穫】



【昼食は農家さんとカレーで交流会】

## ウ 収穫野菜を使った夕食づくり

収穫した野菜でスープやサラダなどの調理をすることによって、地産地消や農業の大切さを学ぶことができた。



【野菜たっぷりのスープ作り】

## 3 成果と課題

### (1) 成果

食べ物を大切にする心を育むためには、単に農作業をしたということだけではなく、農業者とのふれあい、農村の自然環境や農家の生活の中で過ごすような、体験プラスふれあうことが重要であり、そのための取組が食育ファーム。今回開催した食育ファームのアンケート結果と子どもたちが書いた農家へのお礼の手紙から、宿泊することによって農業者との交流に十分な時間が確保され「ふれあう」「語る」で深まるコミュニケーション力まで学ぶことができた。さらに、農業者とのコミュニケーションをとおして、食の大切さだけでなく農業や地域に対する興味や知識を深めるなど、子どもたちは達成感や感動の多い体験をすることができた効果的な結果となった。

### (2) 課題

- ・ 宿泊農業体験の協力農家の確保
- ・ 豊かさや便利さに流されない、食の自己管理能力を高める指導の充実